

科名 外科

対象疾患 HER2陽性転移再発乳癌

プロトコール名 HP+ハラヴェン2回目以降

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	...	8	...	15	...	21
1	点滴注	メイン	生理食塩液	500mL	ルートキープ 残破薬可	↓		↓				
2	点滴注	側管	パージェタ	420mg	60分かけて	↓						
			生食	250mL								
3	点滴注	側管	トラスツズマブ注	6mg/kg	初回90分。以降忍容性があれば30分。 ただし、初回にインフュージョンリアクション あれば2回目60分。以降忍容性があれば 30分。	↓						
			注射用水	7.2mL								
			生食	250mL								
4	点滴注	側管	ハラヴェン	1.4mg/m ²	全開で(10分以内)	↓		↓				
			生食	30mL								

★1クール=21日

～MEMO～

催吐レベル2(10%以上30%未満)

<パージェタ>

初回840mgを60分以上、二回目以降は420mgを30分以上かけて

初回投与の13%にインフュージョンリアクション。投与中または投与開始後24時間は慎重に観察

投与終了後、初回投与時に60分ルートキープで休薬、経過観察を行い、2クール目以降も慎重に観察

通常の患者は12週ごと、無症候性心機能障害患者は6～8週ごと心機能を評価

<トラスツズマブ>

初回8mg/kg、2回目以降6mg/kg。初回90分で忍容性があれば2回目以降30分。ただし、初回にインフュージョンリアクションあれば2回目60分。以降忍容性があれば30分。

禁忌:アンスラサイクリン系との併用(心毒性の増強)

初回投与の40%にインフュージョンリアクションが認められる。投与開始後2時間は慎重に観察

三か月毎に心エコーで心機能を評価

最終投与から6週以上経過した場合は初回投与量(8mg/kg)より再開する。

<ハラヴェン>

投与にあたっては、投与開始基準、減量基準を参考に必要に応じて、投与を延期、減量または休薬すること。

減量を行なう際、次の用量を考慮すること。

減量前の投与 → 減量後の投与量
 1.4mg/m² → 1.1mg/m²
 1.1mg/m² → 0.7mg/m²
 0.7mg/m² → 投与中止を検討